



博物館 For School



メールマガジン

山口県立山口博物館

2016年 3月号

◆ 来年度も、よろしくおねがいします

現在、工事中のため展示室を閉館していますが、展示室の再開は、平成28年7月15日を予定しております。

例年「社会見学」で多くの学校に御来館いただいておりますが、来年度は、再オープンの日から「社会見学」の受付も可能となります。ぜひ足をお運びいただき、さまざまな展示を見て、触れて、本物のもつ魅力を味わってもらいたいと思います。別館等で行う「館内授業」や「職場体験学習」及び、館外で行う「出前授業」「移動展示」「教材貸出」は、年度初めより実施いたしますので、是非御活用ください。来年度も、ますますの御利用をお待ちしております。



◆ 部分日食が見られます！

山口県地方では3月9日（水）に、およそ4年ぶりとなる部分日食が観察できます。10時頃始まり、10時49分頃に最も欠け、11時40分頃に終わります。次に山口県で日食が見られるのは3年後となります。この機会に珍しい天体現象を観察してみませんか？

観察に際しては以下のようなことは、目を痛めますので**絶対にやってはいけません**。

			
肉眼で直接太陽を見る	望遠鏡や双眼鏡を使う	下敷きやCDを使う	フィルムの切れ端を使う
			「投影板」、「日食グラス」、「遮光版」等、専用の器具を使い、専門家や経験者指導の下、安全に観察しましょう。
すすをつけたガラス板を使う	サングラスやゴーグルを使う	日食グラスを使って望遠鏡や双眼鏡をのぞく	

(提供 国立天文台)

◆ ふるさと再発見！



佐々木小次郎は、安土桃山時代～江戸時代初期に活躍した剣豪です。現在の下関市にある舟島、いわゆる「巖流島」で宮本武蔵と勝負し敗れたことで知られ、物干竿と言われた長い刀を使い、「燕返し」の秘剣を生み出したことでも知られています。

武蔵と小次郎の銅像が巖流島に建っていることは有名ですが、この写真の銅像は、岩国市の吉香公園に建っています。なぜでしょう？

小次郎は未だ不明な点が多い人物で、出生についてもいくつかの説が存在しますが、吉川英治原作の小説「宮本武蔵」の中では、岩国出身となっています。吉川英治は、「岩国出身の佐々木小次郎が、錦帯橋のそばで柳の枝が燕を打つを見て「燕返し」の術を得た」と、小説の中で書いています。

ちなみに小次郎のものと伝わる墓が、山口県の阿武町にあります。

◆ 3月・4月の行事予定 (詳細・申し込みは博物館ホームページへどうぞ)

日食を見る会

内容：部分日食の観察

日時：3月9日(水) 9:40～11:40 場所：当館屋上

対象：参加自由



木星を見る会

内容：木星などの星空観察

日時：3月12・13日(土・日) 19:30～21:30 場所：当館屋上

対象：参加自由

(撮影：坪井正紀)



サイエンストーク

内容：学芸員によるミニトーク

日時：3月20日(日) 13:30～15:00 場所：当館(別館)

対象：一般(定員20名)【要申込】山口博物館のHPを参照



木星と月を見る会

内容：望遠鏡で木星と月を観察します。

日時：4月16日(土) 19:30～21:30 場所：当館(天体観測室・屋上)

対象：参加自由



■ お問い合わせ ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2
TEL 083-922-0294
FAX 083-922-0353